

有功地区

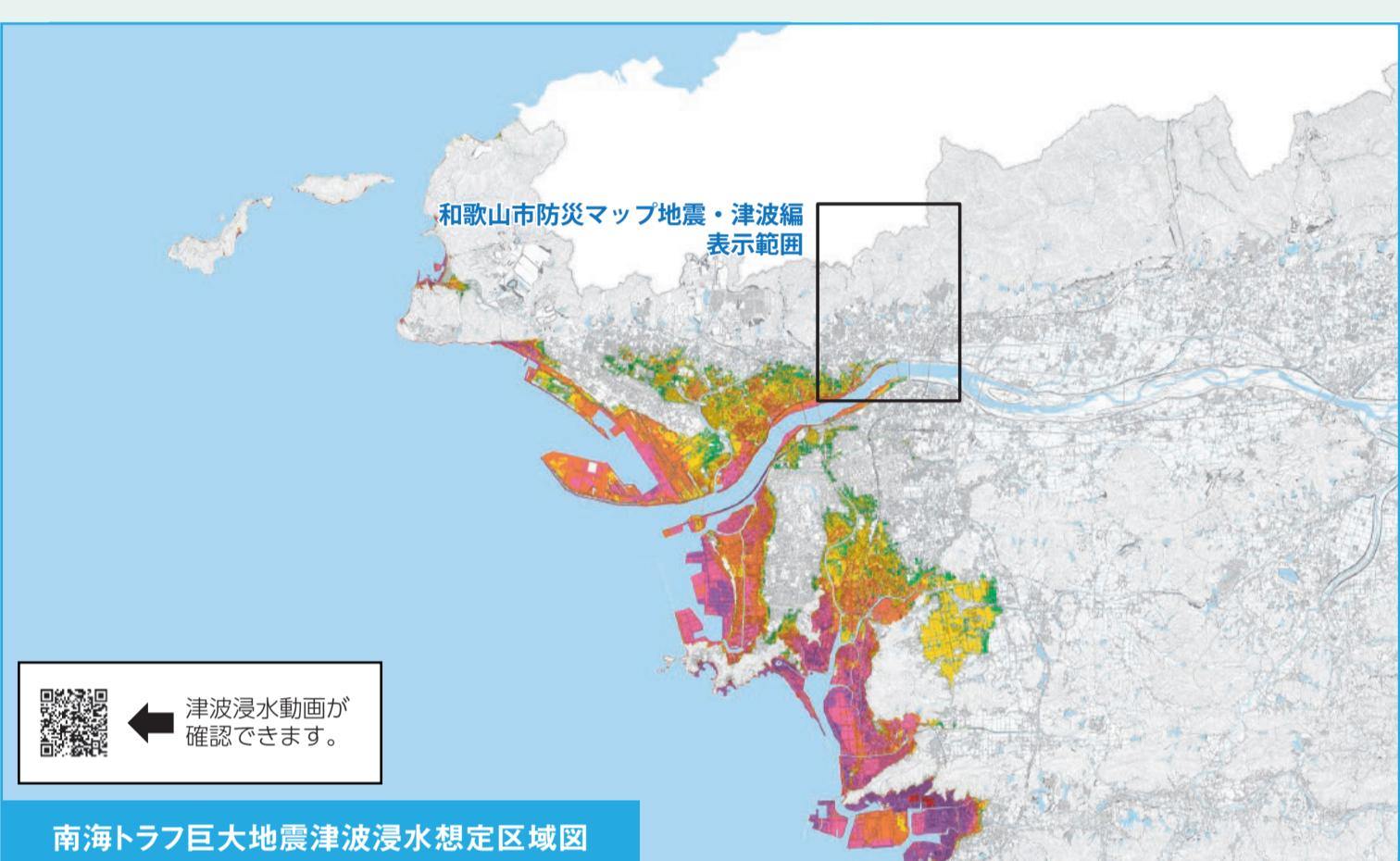
Wakayama City Disaster Preparedness Map 和歌山市防災地図 와카야마시 방재 지도

和歌山市防災マップ

地震・津波編 Earthquakes and Tsunamis 地震・海嘯篇 지진·쓰나미 편

災害はいつ発生するかわかりません！

You never know when a disaster will occur!
灾难何时发生,是无法预计的! 재해는 언제 발생할지 모릅니다!



感染症予防対策

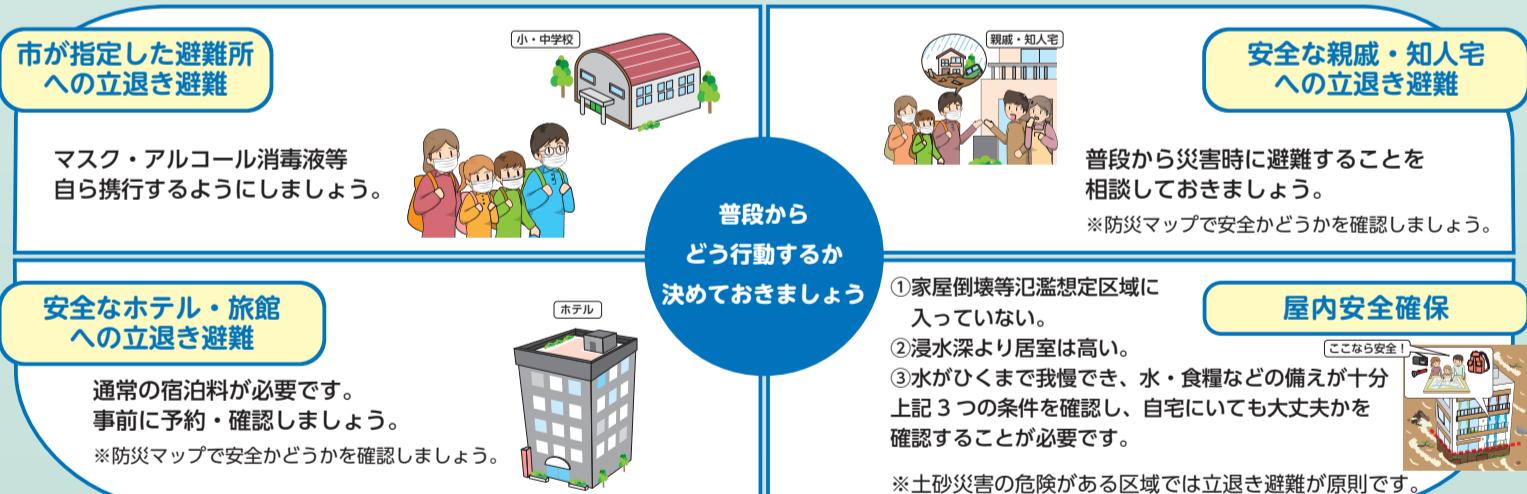
Infectious disease prevention measures
传染病予防対策 감염증 예방 대책

災害発生時には多くの住民が避難する避難所が「3密」状態となり、新型コロナウイルス感染症等が拡大する恐れがあることから、避難所における感染症予防対策が重要です。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等においてはインフルエンザやノロウイルスの感染が散見されています。

- 手洗い、手指の消毒をしましょう。
- 避難所の備品には限りがあるため、マスクや体温計など
- 感染予防に必要となるものは極力持参するようにしてください。



災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。



地震・津波の場合、屋内施設への避難だけでなく、空地や高台などの安全が確保できる場所も避難先の一つとして避難しましょう。

情報の入手先

Information Resources
信息来源 정보 입수처

防災行政無線で迅速かつ効率的に情報を伝達します。FM

電話でも確認できる!



防災情報電話案内サービス
和歌山市の防災行政無線の放送内容や防災情報を電話で聞くことができます。

0120-077-199(通話料無料)

メールでも確認できる!

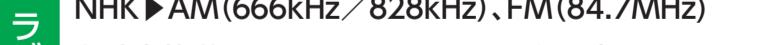


和歌山市防災情報メール

和歌山市の防災行政無線の放送内容や防災情報をメールで確認できます。

登録方法 下記アドレスにメールを送信してください。

touroku@bosai-mail.city.wakayama.wakayama.jp



テレビ テレビ(データ放送)
NHKテレビ(1ch)、テレビ和歌山(5ch)
チャンネルを合わせて④ボタンを押すと、データ放送で
災害情報を確認できます。

ラジオ NHK AM(666kHz/828kHz)、FM(84.7MHz)
和歌山放送 AM(1431kHz)、ワイドFM(94.2MHz)
エフエム和歌山 FM(87.7MHz)

専用 防災情報サービス専用端末(J:COM)

防災行政無線の音声が自動で専用端末から放送されます。(有料)

インターネット(HP) 和歌山市ホームページ
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/



和歌山市ライン公式アカウント



和歌山地方気象台
https://www.jma-net.go.jp/wakayama/



和歌山市公式フェイスブック



関西停電情報アプリ



和歌山市公式ツイッターアカウント



和歌山市災害警戒・対策本部ツイッター

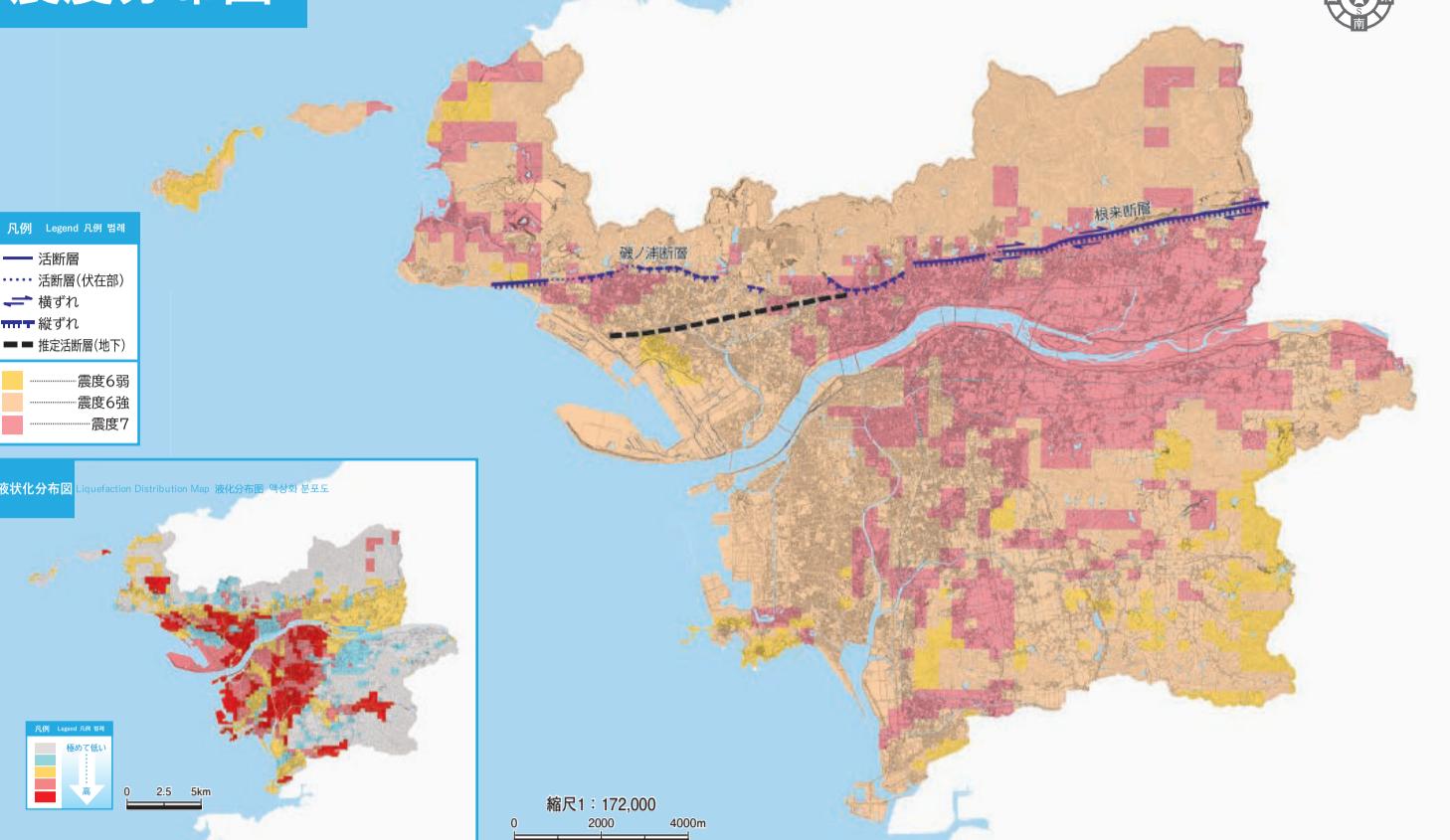


中央構造線の地震（直下型地震）

Earthquake on the Median Tectonic Line (Near-Field Earthquake) 中央構造線地震（直下型地震） 중앙 구조선의 지진(직하형 지진)

●平成 18 年和歌山県公表

震度分布図 Seismic Intensity Map 震級分布图 진도 분포도

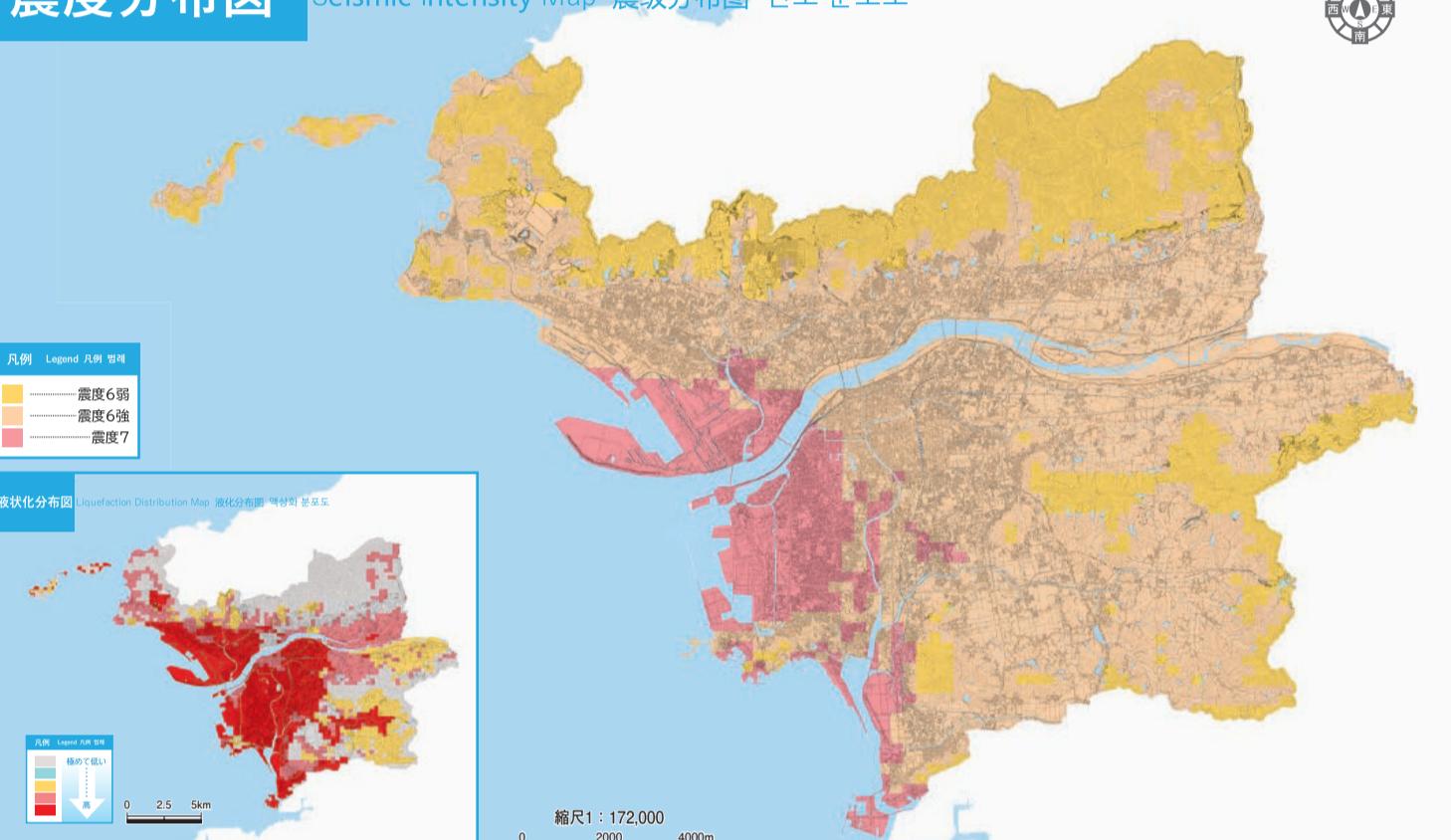


南海トラフの巨大地震(海溝型地震)

Massive Nankai Trough Earthquake (Subduction-Zone Earthquake) 南海海槽大地震 (海沟型地震) 난카이 트로프 거대지진(해구형 지진)

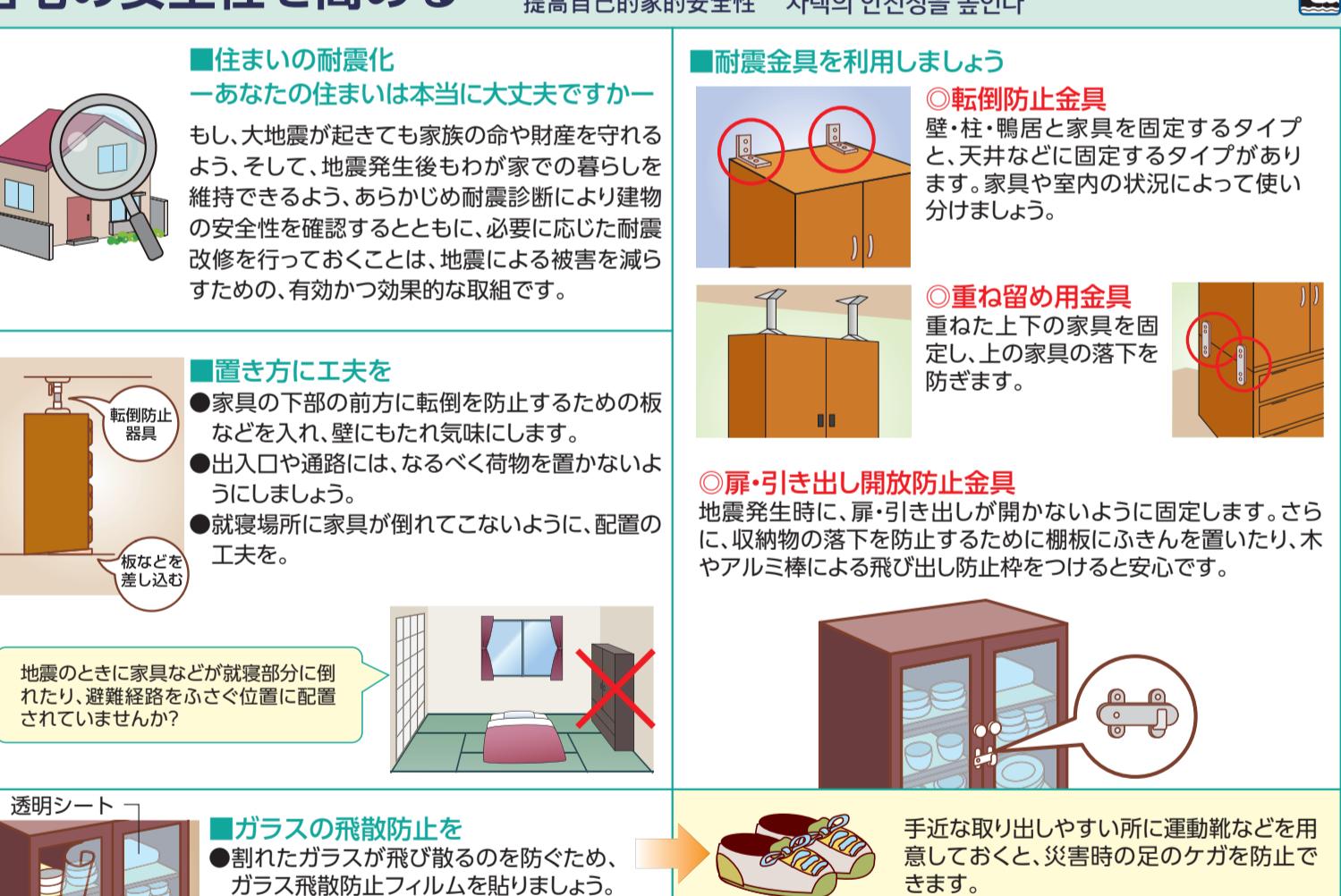
●平成 26 年和歌山県公表

震度分布図 Seismic Intensity Map 震級分布图 진도 분포도



自宅の安全性を高める

Improving home safety
提高自己的家中的安全牲 자택의 안전성을 높인다



非常持ち出し品・非常備蓄品チェック表

Check Sheet for Evacuation Items and Emergency Supplies
应急携带品·应急储备的検査表 비상 반출품 비상 비축품 체크표

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。

災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「非常備蓄品」です。

以下は一例です。特に非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性15kg 女性10kgが目安)

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきましょう。

貴重品

現金 ※公衆電話用に硬貨も

印鑑

家や車の予備鍵

証書類のコピー

(健康保険証、免許証、通帳、保険証書、権利書など)

情報収集用品

携帯ラジオ ※予備電池も

携帯電話(スマートフォン)の充電器

筆記用具

衛生用品

救急セット ※常備薬も

タオル

トイレットペーパー

ピニール袋

下着類

トイレ凝固剤

日用品

携帯電灯 ※予備電池も

ヘルメット・防災ずきん

軍手

スリッパ

笛やブザー ※居場所を知らせるもの

非常飲食品

非常食

飲料水 ※1人1日10L



非常備蓄品

●少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備しておきましょう。

毛布

簡易トイレ

カセットコンロ・ガスボンベ



上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。



地震・津波に関する啓発記事



風水害に関する啓発記事